

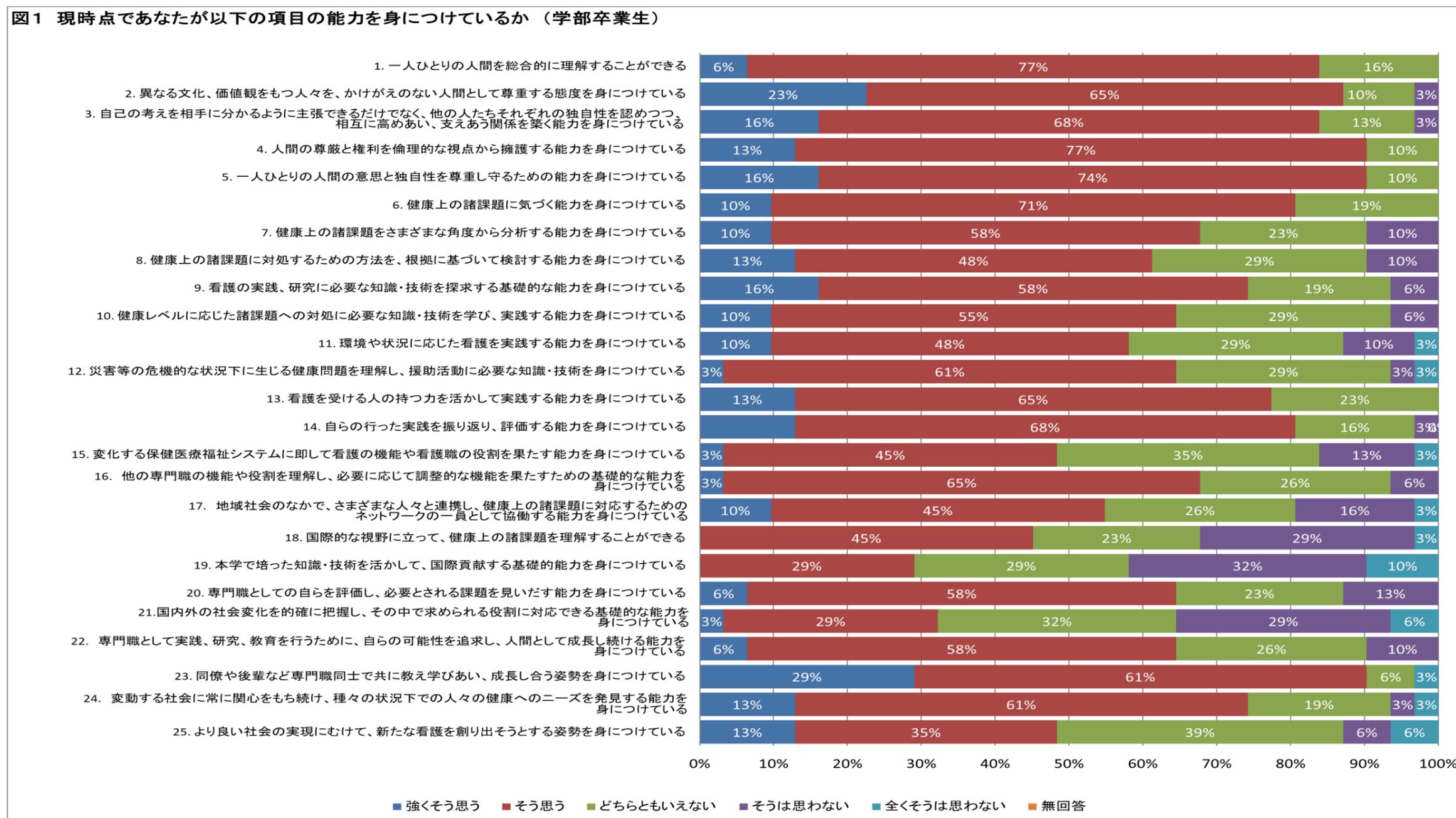
2015年度、2016年度に卒業した学部生に対して、卒業後2年目、3年目になった今、日本赤十字看護大学での学びを振り返り、どのような力が身についたのか聞いた。

【調査時期】 2018年11月

【調査対象者】 2015年度、2016年度看護学部卒業生26名（2015年度卒業生10名、2016年度卒業生16名） 回答者のうち21名が赤十字関連施設に勤務。

【回答率】 10.5%

【結果】 図1 現時点であなたが以下の項目の能力を身につけているか（学部卒業生）



卒業2，3年目で身につけていると感じている割合の高い順に上位5つは、以下の通りであった（強くそう思う、そう思うを合わせた割合）。

- ・一人一人の人間の意思と独自性を尊重し守るための能力（91%）
- ・人間の尊厳と権利を倫理的な視点から擁護する能力(90%)
- ・同僚や後輩など専門職同士で教え学びあい、成長しあう姿勢（90%）
- ・異なる文化、価値観をもつ人々を、かけがえのない人間として尊重する態度（88%）
- ・一人一人の人間を総合的に理解する(83%)

反対に、身につけているという回答が低かったのは、以下の通りであった。

- ・本学で培った知識・技術を活かして、国際貢献する基礎的能力 (29%)
- ・国内外の社会変化を的確に把握し、その中で求められる役割に対応できる基礎的な能力(32%)

自由記載からは、本学で学んだことが卒業後にどのように活かされているかについて、「看護技術を学ぶ授業では、根拠を1つ1つ丁寧に指導して下さい、臨床に出てからとても役に立ちました。学生の頃はもっと高度なことを知りたいと思っていましたが、臨床に出てからは、基礎ほど大切であることに気付き、学生のうちにしっかり学べてよかったと思っています。」という意見があった。

上記の2015年度、2016年度に卒業した学部生が就職した施設の看護管理者に対して、卒業後2年目、3年目の卒業生が平均的にどのような力を身につけているか質問した。

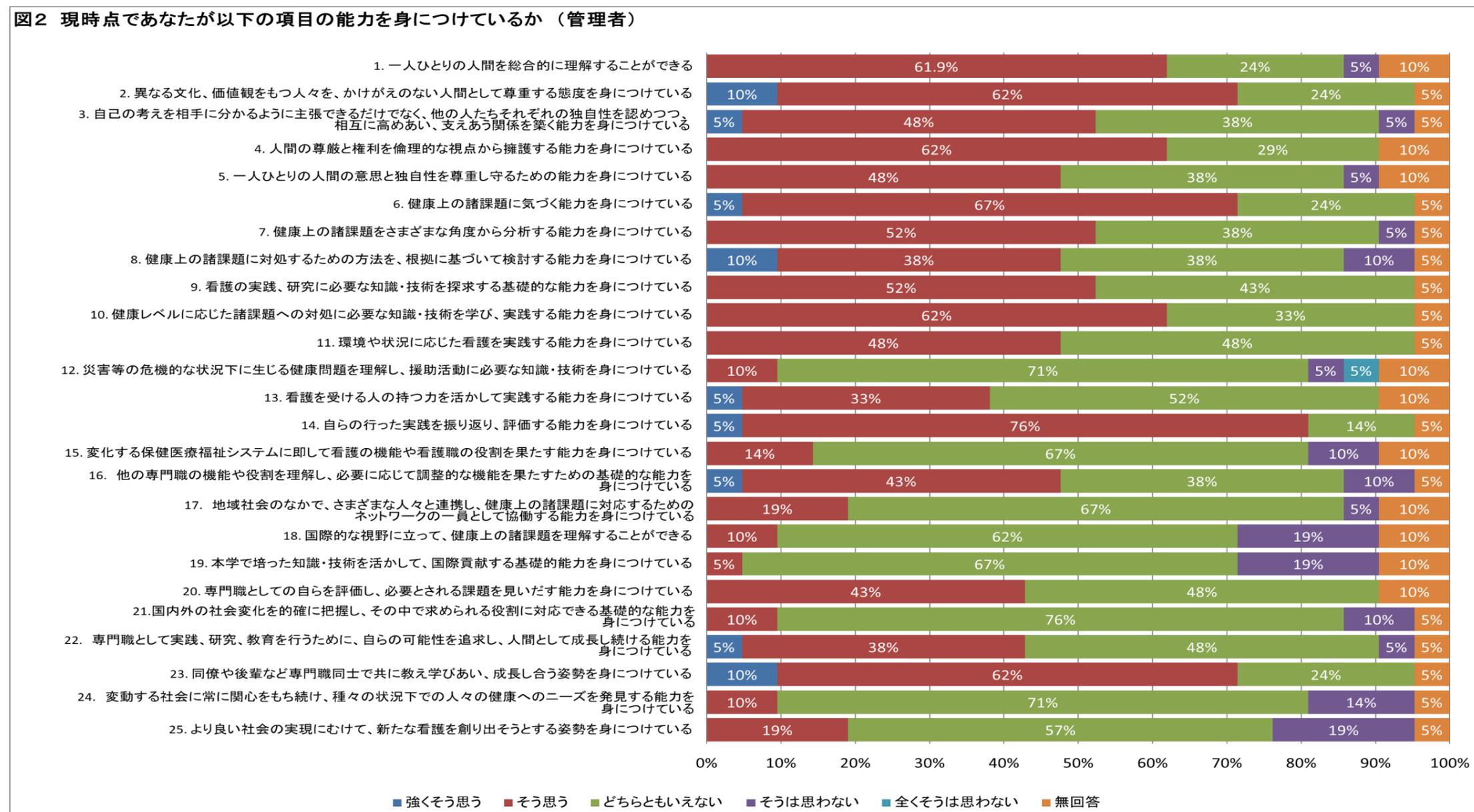
【調査時期】 2018年11月

【調査対象者】 2015年度、2016年度看護学部卒業生が2名以上就職した医療施設の管理者21名

回答者のうち17名が赤十字関連施設の看護管理者。

【回答率】 77.8%

【結果】 図2 現時点であなたが以下の項目の能力を身につけているか（管理者）



看護管理者が本学卒業2，3年目の看護師が身につけていると感じる力について、割合の高い順に上位5つは、以下の通りであった（強くそう思う、そう思うを合わせた割合）。

- ・自らの行った実践を振り返り、評価する能力(81%)
- ・異なる文化、価値観をもつ人々を、かけがえのない人間として尊重する態度（72%）
- ・健康上の諸課題に気づく能力(72%)
- ・同僚や後輩など専門職同士で教え学びあい、成長しあう姿勢（72%）

反対に、身につけているという回答が低かったのは、以下の通りであった。

- ・本学で培った知識・技術を活かして、国際貢献する基礎的能力（5%）
- ・国際的な視野に立って、健康上の諸課題を理解する（10%）
- ・国内外の社会変化を的確に把握し、その中で求められる役割に対応できる基礎的な能力(10%)
- ・災害等の危機的な状況下に生じる健康問題を理解し、援助活動に必要な知識・技術(10%)
- ・変動する社会に常に関心を持ち続け、種々の状況下での人々の健康へのニーズを発見する能力(10%)

自由記載からは、「根拠に基づいた看護実践を音読しており、学習意欲が高い」「自己の看護観を持ち、意見や疑問を発信することができる」「根拠に基づく看護が考えられる。また、看護職員としての自覚と責任ある行動がとれている」という意見があった。一方で、「集合教育の演習時に積極性があまりみせられないためリーダーシップがとれることを望んでいる」という意見もあった。